

花の台学童保育ホール

HANANODAI GAKUDOU

このサイトを検索

ホーム

入室募集

お知らせ

花の台って？

よくあるご質問

ホールだより

花の台コラム

イベント

ご支援のお願い

[全花の台コラム](#) >

夏の親子キャンプ

2013/10/07 23:48 に 花の台学童保育ホール が投稿 [2013/10/16 0:12 に更新しました]

毎年7月の終わりに親子キャンプが催されます。
2泊3日で子供はほぼ全員参加、親も出来るだけ都合をつけて参加します。
未就学の兄弟も大勢やってきます。

場所は道志の新戸（しんど）キャンプ場。
子供たちはバスをチャーターして、親は車で分乗して目的地に向かいます。
大人は一足早くキャンプ場に到着して、ベースキャンプ（って言うかキッチン）や、食堂の設営をします。
子供たちは到着したら、バンガローに荷物を置いて、開村式を行います。
開村式は、参加者全員の自己紹介や、子供たちが頑張りたい事などを話します。
花の台の子供たちは何かと班を作って行動します。大人もキャンプでは班に組み込まれますが、自分の子供の所属班ではありません。

こういう配慮で、大人はよその子も覚えていくのです。

班の中の大人の役割は子供たちのサポート。

低学年は着替えをするにも、何を着たら良いのかわからない時もありますし、子供主体で夕飯を作る際も段取りや安全に気を配ります。

班の中で当番を決めて、子供のバンガローと一緒に寝る当番も作られています。

開村式が終わり、昼食を取ったら、お待ちかねの川遊びです。

川は流れは緩やかですが、深さがあるので、大人が何人か当番で安全を見守ります。

子供も大人も花の台所有のライフジャケットを装着して遊びます。

途中オヤツを挟んで川遊びを堪能した後は、子供の夕食作りです。

班長を中心に火を起こしたり、野菜を切ったりします。

お米は飯ごうで炊きますが、全員分は難しいので、大人が別の釜でも準備します。

今年のメニューは全部の班がカレーでした。隠し味を入れるのが流行りだったのか、全ての班が何かしらの工夫をしてカレー作りをしました。

ホントに班の数だけ個性的なカレーが出来上がり、私も幾つかの班を回って味見させて貰いましたが、みな美味しいカレーに仕上がっていました。

夕食後もイベントがあります。

今年は5～6年生の企画で肝試しでした。

残念ながら私は裏方に回っていたので、どれほどの怖さか良くわからなかったのですが、驚かす方も驚かされる方も、楽しく過ごせたようです。

そろそろ就寝準備ですが、班長さん達だけは班長会議があります。

今日は一日を振り返って、良かったこと反省点などを発表していきます。

その頃バンガローでは、宿直担当が子供達を見守り、時間になると寝かしにかかります。同じ頃、キャンプ委員の食料班の方は、大人の懇親会の準備、母たちはコインシャワーで汗を流す方が多いようです。

大人の懇親会は、夜半まで続き、初日を締めくくります。

キャンプ2日目も盛りだくさんです。

低学年は沢登り、高学年は川くだりに出かけます。

川くだりは経験がないので、沢登りだけ...

沢登りは細い川の支流を登っていきます。

途中、ロープに捕まって上らなくてはならない箇所が1箇所だけありますが、大人と子供が協力して、事故のないように頑張っております。

目的地は内緒です。とっても素敵な場所に、大人も癒されます。

キャンプ場に帰って昼ごはんの後は、また川遊びです。

しばらく遊ぶと、上級生が川くだりから帰ってきます。

高さ7mもある岩の上から川に飛び込んだ武勇伝などを聞きながら、夕方まで川遊びをします。

夕食を取った後は、一大イベントのキャンプファイヤーがあります。

普通の生活をしていて、キャンプファイヤーなんて経験できますか？

本当に花の台に入らなければ、こんなに大規模なキャンプファイアーなんて経験出来なかつただろうと思います。

火を囲み輪になって、みんなで歌い、踊ります。
こうして楽しいキャンプは、終盤に向かいます。

2日目の夜も、大人はキャンプファイアーの残り火で焼いたおつまみで、その日の労をねぎらいます。

3日目はあっさりと。

大人は朝から撤収班と子供の水遊びの安全を見守る班に分かれて大忙しです。
ホールから持ち込んだ、レンタカーの2トントラックいっぱいの荷物をパズルのように積み込みます。
今年は天候が悪くて、残念ながらゲームなどをして遊びました。

お昼ごはんを食べて閉村式、皆が思い思いにキャンプの感想を述べます。

閉村式が終われば、楽しかったキャンプもおしまいです。
またバスに乗って、帰路に着きます。

思いのほか長くなってしまいました。
およそのキャンプの雰囲気、流れをご理解頂けたでしょうか？

花の台のキャンプは汚いから嫌！なんて噂とイメージが先行しているフシがありますが、母たちも大抵は1年目で慣れ、翌年からは当たり前のように参加するようになるそうです。

この、他ではなかなか得られない経験を、来年は皆様も一緒に如何でしょうか？

花の台学童保育ホールは川崎市宮前区にある自主共同の学童です。

〒216-0003 神奈川県川崎市宮前区有馬2丁目9-4

TEL:044-877-5304 / e-mail: info.hananodai@rhythm.ocn.ne.jp

Copyright(C)2014 Hananodai-Gakudou All Rights Reserved.

[不正行為を報告](#) | Powered By [Google サイト](#)